

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 11 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

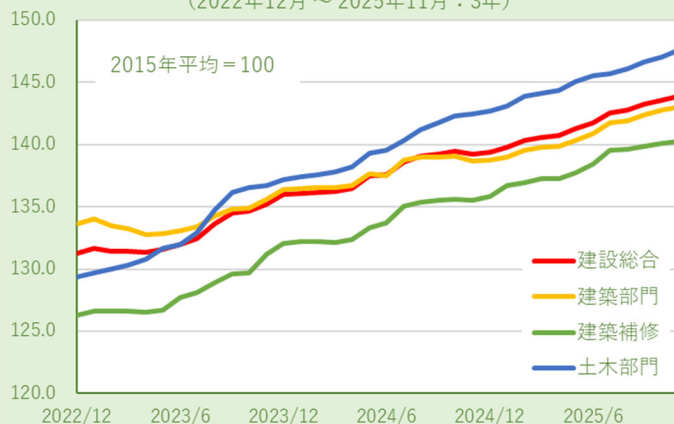
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 11 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が **143.9** となり、前月比+0.2%(+0.3 ポイント)と **12 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.3%(+4.6 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **143.0** となり、前月比+0.1%(+0.2 ポイント)と **12 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.1%(+4.3 ポイント)となった。**建築補修**は **140.2** となり、前月比+0.1%(+0.1 ポイント)と **12 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.5%(+4.7 ポイント)となった。**土木部門**は **147.6** となり、前月比+0.4%(+0.6 ポイント)と **2020 年 6 月以降 66 カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+3.6%(+5.2 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年12月～2025年11月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

【非鉄金属】電線・ケーブル、銅小板

前月から引き続き、原材料である銅の相場の続伸を背景に製品価格が上伸し、指数動向のプラスに寄与

【窯業・土石製品】建築用石材

円安による輸入および運搬コストの増加を主要因とした値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



【石油製品・舗装材料】軽油

原油の調達コストの値下がり背景に、元売りが卸価格を引き下げたことが指数動向のマイナスに寄与

【鉄鋼】H形鋼

需要減少を背景とした販売店間の受注競争による続落により、指数動向のマイナスに寄与

3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別に見ると【新潟】（前月比+0.4%）では、他都市と同様に軽油価格の下落によるマイナス寄与があったものの、原材料費や運搬費、製造プラントの維持・修繕費や人件費など、全般的な製造コストの増加を背景としたアスファルト混合物の値上げが指数動向のプラスに寄与し、結果的に前月比プラスとなった。

また、【札幌】（前月比+0.3%）では、製造コストの増加分を転嫁したヒューム管やパイプなどのコンクリート製品の値上げが指数動向のプラスに寄与した。なお、【福岡】（前月比+0.3%）では、製造や輸送にかかるエネルギーコストの増加を背景としたセメント価格の上伸と、セメントを原材料とするコンクリート製品の値上げが指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2025年11月分】

全国平均：143.9	新 潟：140.6	札 幌：147.8
前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.4%	前 月 比 +0.3%
前年同月比 +3.3%	前年同月比 +3.3%	前年同月比 +5.4%

広 島：142.8	大 阪：146.2	仙 台：138.8
前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +4.1%	前年同月比 +2.4%	前年同月比 +2.9%

福 岡：144.6	東 京：144.2
前 月 比 +0.3%	前 月 比 +0.2%
前年同月比 +2.8%	前年同月比 +3.8%

那 覇：142.8	高 松：151.0	名古屋：143.9
前 月 比 +0.1%	前 月 比 +0.1%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +3.4%	前年同月比 +3.6%	前年同月比 +2.3%

一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp